

# 第4学年 道徳科学習指導案

令和4年9月15日(木)5校時

1 主題名 「自ら信じることにしたがつて」 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任

2 教材名 カマキリ(出典:新・みんなの道徳4年 学研)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について(価値観)

中学年における内容項目A-(1)は、「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと」である。4年生になると様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことについての判断力が高まってくる。しかし、正しいと知りつつもそのことを実行できなかつたり、悪いことと知りながらも周囲に流されたり自分の弱さに負けたりしてしまうこともある。この段階の児童に対して、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと判断したことは行わないようにする態度を育てることが大切であると考える。

(2) 児童の実態について(子ども観)

(略)

(3) 教材及び指導について(教材観及び指導観)

本教材は、「ぼく」がインターネットを使う際、自分の判断は正しいと思いながらも周りに流されて個人情報を入力してしまい、自分の行動に後悔の念を抱いてしまう内容である。

指導にあたっては、グループで調べ学習をする場面を想起させ、役割演技を通して登場人物の言動を考えさせる。その中で実行する難しさや感情を体感させることにより、表れてくる児童の価値観を取り上げて自分のこととして話し合いをさせたい。そして、仲のよい友達関係であっても周囲に流されず正しく判断し行動できるか、自分の弱さに負けず、正しく判断し行動できるかという視点で多面的・多角的に考えさせていく。終末では、自分の生活を振り返り、できた自分もできなかった自分も認め、そこから自分と向き合っていこうとする態度を育てていきたい。

4 本時のねらい

よく考えて正しいと判断したことは、周りに流されることなく、自信をもって行おうとする態度を育てる。

5 本時のねらいにせまるための手立て

【手立て1】 焦点化

事前にアンケートを行い、実体験をもとに考えることを通して、本時のねらいとする道徳的価値に対する児童の問題意識を高める。

【手立て2】 共有化

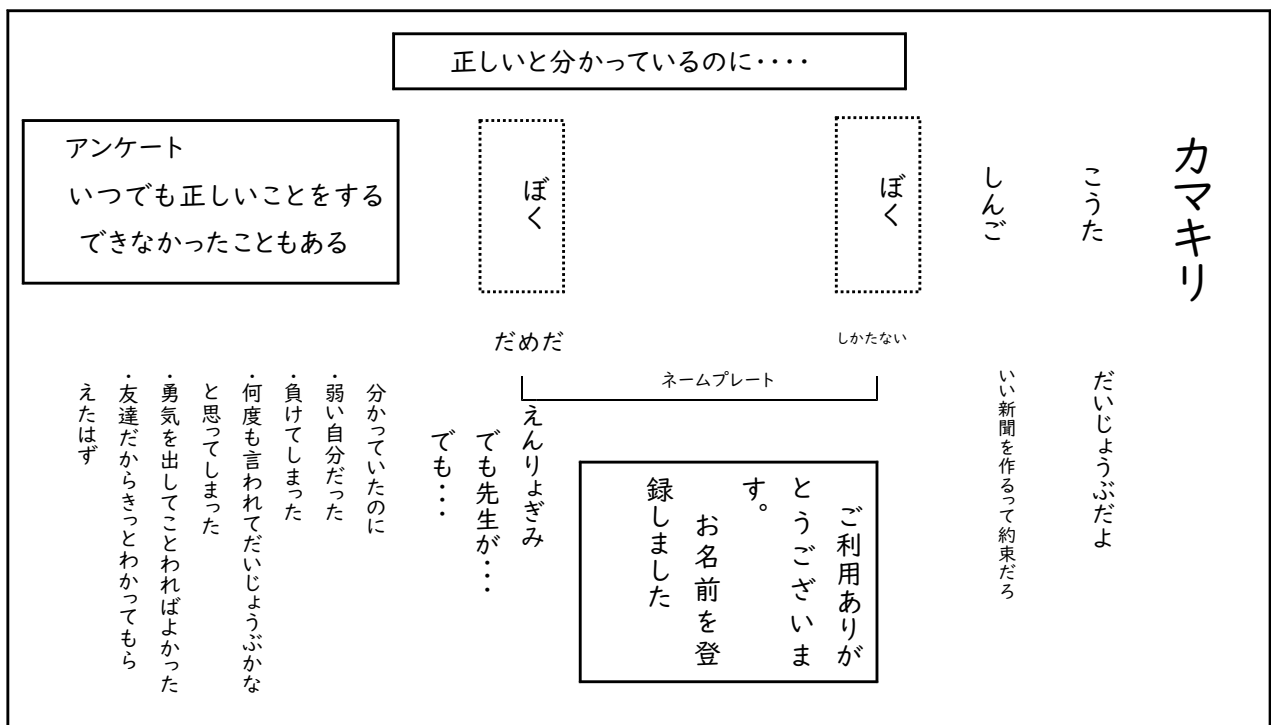
役割演技により、道徳的価値について理解を深めるとともに、演者や観客として「ぼく」の気持ちを話し合うことで、多面的・多角的に考えることができるようにする。

【手立て3】 視覚化

「『ぼく』のしたことをどう思うか」「自分の生活を振り返って」ということについて、心のものさしを使うことで、考えを可視化できるようにする。

6 学習過程(別紙)

7 板書計画



6 学習過程

段階	学習活動・内容 (○主な発問◎中心発問・予想される児童の反応)	時間	○指導上の留意点【手立て】 ※評価(評価方法)
導入	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>○ 正しいと思ったことを行うのは大事ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事です。</li> <li>・当たり前だと思う。</li> </ul> <p>○ それはいつでもできますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる。</li> <li>・できないこともあった。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">正しいと分かっているのに……</div>	5分	<p>○ 事前アンケートを実施し、正しいと思うことを行うことや正しくないと思うことは行わないことについて当たり前のことと思っているのに実際はできなかつたり悩んだりしたことがあるという実体験について考えることで、児童の問題意識を高めることができるようにする。 【手立て1】</p>
展開	<p>2 教材文「カマキリ」を読んで話し合う。</p> <p>○ 名前を入力したときの「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当はいやだけれど断れない。</li> <li>・約束を破ったと言われたくない。</li> <li>・下の名前だけならだいじょうぶだろう。</li> </ul> <p>◎ 「ぼく」の気持ちになって考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断れると思ったけれどやりたい気持ちに負けてしまった。</li> <li>・友達が見たがっていることが伝わってくる。</li> <li>・正しいと思うことを信じていれば強く言えると思う。</li> <li>・勇気がないと言えない。</li> </ul> <p>○ 「ぼく」がしたことをどう思いますか。あなたの気持ちを表してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も言われたから仕方ないと思う。</li> <li>・悪いことと分かっているのにだめだと思う。</li> </ul>	25	<p>○ 登場人物や状況を前もって説明してから教材文を読むことで、内容を把握しやすくする。また、感想として個人情報を入力してしまったという「情報モラル」に関するものが出されると予想されるが、本時のねらいとする道徳的価値を押さえることで、テーマに目を向けることができるようにする。</p> <p>○ 代表児童が、「ぼく」を演じ、教師が友達役として揺さぶりをかける。役割演技をすることで、演じた児童も見ていた児童も友達関係や利害関係をより自分事として考えることができるようにする。また、感じたことを自由に表現することで、多様な考えに触れながら話し合うことができるようにしていきたい。 【手立て2】</p> <p>○ 「ぼく」のしたことについて、自分の気持ちを心のものさし上にネームプレートで位置付けた後で、その理由について話し合うことで、多様な考えがあることを捉えることができるようにする。 【手立て3】</p> <p>※ 誰にでも心の弱さがあることやそれを乗り越える強さが必要だということを自分の考えと友達の考えを比べて考えている。 (発言・ネームプレート)</p>
終末	<p>4 これまでの自分を振り返る。</p> <p>○ これまでの自分は、正しいと判断したことを自信をもって行っていましたか。できたことやできなかったことを書きましょう。</p>	15	<p>○ 児童にとって身近な友達関係や情報モラルに関わる経験を具体的に想起させることで、自分のこととして考えることができるようにする。</p> <p>※ 正しいと判断したことを実行しているか、自分の生活を見つめ、振り返りながら考えている。 (ワークシート・発言)</p>

正しいと思うことをいつでもしているでしょうか。

名前

多  
い  
し  
て  
い  
な  
い  
こ  
と  
が

と  
き  
ど  
き  
し  
て  
い  
る

多  
い  
し  
て  
い  
る  
こ  
と  
が

い  
じ  
つ  
も  
し  
て  
い  
る

これまでの自分は、正しいとはんだんしたことを自信をもって行って  
いましたか。

名前

多  
い  
し  
て  
い  
な  
い  
こ  
と  
が

と  
き  
ど  
き  
し  
て  
い  
る

多  
い  
し  
て  
い  
る  
こ  
と  
が

い  
じ  
つ  
も  
し  
て  
い  
る

できたこと、できなかったことを書きましょう。

# 第5・6学年 総合的な学習の時間指導案

令和4年11月16日(水)5校時

1 単元名 平田の伝統～平田の歴史と自まを発信せよ～

2 単元の目標

- ◎ 150周年を迎えた平田小学校の歴史を紐解く中で、発見した事実や新たな疑問について調べまとめる活動を通して、平田小学校のこれまでの歴史と伝統・それをつないだ人々の思いについて理解し、これからは故郷を大切に誇りをもって歩いていこうとする。

3 単元について

- (1) 今年度の総合的な学習の時間では、「マイ野菜プロジェクト～平田で採れる米と野菜を育ててみよう」と「150周年を迎えた平田小学校の歴史」の2つを柱に活動を行ってきた。

「マイ野菜プロジェクト」では、地域の農家の方(保護者・祖父母)にご協力いただき、種や苗の扱い方や植え方の講習、大型機械による田おこしや代掻き、畝作りなどを見学・体験させていただいた。

「平田の伝統」では、一人1台ずつ持っているタブレットを活用して、保護者や祖父母へのインタビュー動画を撮影させていただいたり、平田の土地利用が分かる動画を撮影してきていただいたり、ICT機器も活用して、探究活動を行ってきた。特に、平田小学校の150年間の歴史を紐解いていく中で、校歌に歌われている「噴水」は、平田小学校に実在したのだろうか、150年前もこの土地に学校があったのだろうか、どれくらいの児童がいたのだろうかなど、調べれば調べるほど新しい発見と新しい疑問が生まれ、それらを解決しようと、広く深く探究することを繰り返してきた。

- (2) 児童の実態について

(略)

- (3) 子どもたちは、本時に至るまでに、平田小学校の沿革誌や各時代の卒業アルバムを使って、知りたかったことや、調べていく中で生まれた疑問を次々と調べてきた。平田小学校の歴史を年表にまとめ、平田小学校が信夫中学校区で初めての尋常高等小学校だったことを知り、「尋常小学校」や「尋常高等小学校」という言葉の意味を調べた。また、平田ではかつて養蚕業も盛んだったことや、校歌には歌われているけれど今はない噴水が、旧校舎時代には実在したことなどを写真や動画でまとめ、150周年記念行事を兼ねた学習発表会で伝えるために、15分間のドキュメンタリー番組を制作した。そして、創立150周年を祝う会を兼ねた校内学習発表会においては、今一緒に学校生活を送っている教職員や下級生に向けて、全校児童の保護者の方々や、以前平田小学校に勤務されていた元校長、昔から平田で生活している地元区長など、約100名の観客を前に、生放送の形で発表することができた。その後、当日の発表を見ることができなかった前校長や前教頭、さらに当日校内にいても業務のために会場に入ることができない事務室の先生からの「できれば発表を見たかった」というメッセージを受け、生放送ではなく、残せる形にしようと再度計画を立て始めるに至った。

本時では、そのときだけで終わる生放送ではなく、映像を未来に残したり、広くたくさんの方の目に触れる資料を作る場合、どんなことに気を付けなければならないのかを、前時に招いたゲストティーチャーからの言葉も踏まえて、情報モラルの観点からも考えさせ、安心して未来に託せるものを作っていく。そして、これまでの歴史と伝統・それをつないだ人々の思いについて理解し、平田小学校150年の歴史の一ページに刻まれる自分たちの足跡も、未来の平田小学校を作っていくことを理解することで、これからは故郷を大切に誇りをもって歩いていこうとする態度を育てたい。

4 本時までの学びと、今後の展開

4月

平田の農業を知る

総合的な学習の時間：「平田の農産物を知ろう」  
コシヒカリの種粃をまく。(高橋健一さん, 渡邊隆雄さんの協力による。)

総合的な学習の時間：「平田の農産物を知ろう」  
米以外で, 平田で育てられる野菜について調べる。(マイ野菜プロジェクトスタート)

5月

総合的な学習の時間：「平田の農産物を知ろう～マイ野菜プロジェクト」  
一人1つずつ, 自分が選択した野菜の苗を植え付ける。

総合的な学習の時間：「平田の農産物を知ろう」  
学校田に田植えをする。(1本植え, 2本植え, 3本植え, ばら蒔きなど)

6月

ICT機器に触れ, 使い方を

総合的な学習の時間「ふくしまのよさを知ろう～会津修学旅行」計画

行事：「会津修学旅行」1泊2日

総合的な学習の時間：「ふくしまのよさを知ろう～会津修学旅行」まとめ

7月

総合的な学習の時間：「ふくしまのよさを知ろう～会津修学旅行」発表  
授業参観において, 会津で学んできたことを, 動画編集ソフトとプレゼンテーションアプリを使って発表。

図画工作科：「形が動く 絵が動く」  
動画編集ソフトを活用して, 自分で撮影した動画に音楽や字幕を入れて編集。

9月

情報モラルを

学級活動：「メディアとのかかわり方」  
医療創生大学 中尾剛 准教授の講演「情報モラルについて考えよう」

欠課(全市一斉オンライン授業として)  
講演「情報モラルについて考えよう」を踏まえて話し合い, 家庭のルールを再確認。

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ～」スタート

10月

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ～」まとめI  
調べたことをワープロソフトでまとめたり, 動画を撮影・編集したり, プレゼンテーションアプリで発表シートを作成したりする。

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ～」学習発表会

11月

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ シーズン2～」スタート  
さらに広く発表するための方法を考え, 実行可能な計画を立てる。

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ シーズン2～」  
追加の動画を撮影・編集する。(ゲストティーチャー 高橋忠市さんによる助言)

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ シーズン2～」  
後世に映像として残すにあたり, 情報モラルについて考える。

12月

総合的な学習の時間：「平田の伝統～平田の歴史と自まんと発信せよ シーズン2～」完成  
前校長や前教頭に動画を見ていただき, 感想を聞く。

5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>① 平田小学校のこれまでの歴史と伝統・それをつないだ人々の思いを知るとともに、自らも未来の平田小学校をつくる一員であることを理解している。</p> <p>② 動画撮影や音声録音によるインタビュー調査を、相手や場面に応じた適切な情報モラルに即して実施している。</p> <p>③ 故郷を大切に誇りをもって歩いていこうとする意識の高まりは、平田小学校の歴史を広く伝えるために探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>① 課題の解決に向けた計画書の作成にあたり、何を、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>② 家族やゲストティーチャーに対して行う質問について、必要とする情報に応じた質問の内容や方法を決めている。</p> <p>③ 平田小学校150年の歴史を伝えるための学習発表会やDVD化について、「実現可能か」「意味があるか」「有効か」等の視点から根拠を見いだしている。</p> <p>④ 活動を通して学んだ自らの思い、自己の成長、学びによる自己の変容を、テレビ番組風に構成した劇で表現している。</p>	<p>① 家族やゲストティーチャーに対するインタビューから自分の生活を見直し、変化してきたことや現在にも受け継がれていることを見いだそうとしている。</p> <p>② 平田小学校150年の歴史を伝えるための方法を決定するにあたって、伝える相手の状況に応じて対応し、目的意識を明確にして関わろうとしている。</p> <p>③ 学習発表会やDVD化を成功させるために、友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、問題の解決に向けて協力して取り組んでいる。</p>

6 単元の指導計画(総時数20時間)

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 平田の歴史をしらべよう(5)	・ 平田小学校が今年創立150周年であることを知り、今自分が知っていることと知らないこと、知りたいことを見だし、今後の活動への見通しをもつ。		①		・ タブレットへの記入事項
	・ 保護者や祖父母にもインタビューしたり、卒業アルバム等の資料を見せていただいたりして、知らなかったことを中心に調べ、分かったことをクラスの共通シート(MetaMoji Classroom上)に順次記録する。			①	・ インタビュー資料や動画
	・ 収集した資料をもとに、知りたいことを時代別・種類別に分類し、同じ項目に興味をもった者同士でグループを作る。	①			・ タブレット内ワークシート
2 伝え方を考えよう(5)	・ 集まったインタビュー動画や音声資料、世代ごとの卒業アルバムや100周年時に制作された沿革	②			・ タブレット内共有シー

	<ul style="list-style-type: none"> <li>誌などをもとに、動画や年表を編集する。</li> <li>これまでの学習で活用してきたワープロソフト・プレゼンテーションソフト・動画編集アプリ等を生かし、自分たちが伝えたいことが相手に伝わるような方法を考えて、番組を作る。</li> </ul>				ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー資料や動画</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>番組を作成しながら、さらに必要な情報を収集するために、追加で取材をしたり、100周年記念誌や沿革誌を調べて、資料を作成する。</li> </ul>		②			<ul style="list-style-type: none"> <li>作成資料</li> <li>編集動画</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校生や教職員・保護者の方々に向けて平田小学校150年の歴史を伝えるために、分かりやすい劇の構成や互いのよさを生かした役割分担をして劇作りをしている。</li> </ul>			①		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>劇の発表</li> </ul>
	<b>【学習発表会】</b> * 校内学習発表会(2)と学習発表会(1)で、制作した番組を生放送する。					
3	もっと広く、未来に残せるものを作ろう(10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生放送を観覧できなかった方々がいることを知り、生放送番組を残せるものにするための方法を考え、実行可能な計画を立てる。</li> </ul>		①		<ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツール(付箋紙)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生放送を観覧できなかった方々や、創立200周年時に生きる未来の平田のために、自分たちが発表した生放送番組を残せる形にしようとする。</li> </ul>			②	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット内共有シート</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習発表会で生放送を見てくださった、5年児童の祖父で現役 YouTuber のゲストティーチャー 高橋忠市さんに助言をいただく。</li> </ul>			③	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想発表</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが考えた生放送番組を残せる方法を試行する。(動画の撮影や編集)</li> </ul>			③	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作成資料</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>高橋さんからの助言を参考にして、未来に残すものとしてふさわしいものに仕上げるための方法を再検討する。(本時)</li> </ul>			③	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット内共有シート</li> <li>発言</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>助言をもとに再検討した方法で、広く発信したり、未来に残したりできる動画を再編集する。</li> </ul>			④	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作成資料</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習発表会に向けた劇や、もっと広く、未来にも残せるものを作ることで、自分たちも平田の歴史を受け継ぎ、未来に受け渡していく役割を担っていることに気付く。</li> </ul>		③		<ul style="list-style-type: none"> <li>動画作品</li> <li>感想発表</li> <li>作文</li> </ul>
	<b>【前校長・前教頭に届けよう】</b> 1 制作した番組を送り、感想を聞く。(手紙・動画等)					



## 7 本時のねらい

平田小学校150年の歴史について調べたりまとめたりしたものを、より多くの身近な方々に伝える活動を通して、未来に残すことの大切さに気づき、情報を安心・安全な形で残すための方法を考えることができる。

## 8 本時のねらいにせまるための手立て

### 【手立て1】 焦点化

平田小学校が創立150周年の記念の年であることをきっかけに、平田小学校の歴史について知っていることと知らないこと、もっと知りたいことを明確にする。

これまでに作成した生放送特別番組を未来に残すものとして相応しい形に再編集する。

### 【手立て2】 共有化

MetaMoji Classroomの共有シートに書き込むことによって、児童同士だけでなく、それぞれの保護者のインタビュー動画を見たり、インタビューの音声を聞いたりする。

役柄ごとに話し合ったことを、プレゼンテーションソフト(MetaMoji Classroom)の共有スペースを用いてその都度共有することで、再編集にあたって協力できることを明確にする。

### 【手立て3】 視覚化(本時まで)

調べたことをワープロソフトやプレゼンテーションソフト、動画編集アプリケーションなどを利用して番組を作ることで、たくさんの方々に見えるようにする。

## 9 学習過程

段階	学習活動・内容 (○主な発問・予想される児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ※評価(評価方法)
導入	1 これまでの学習を振り返る。 それぞれのグループで再編集した動画や再編集のためのアイデアを、高橋さんからの助言をもとに見直す。	10	○ 11月2日に検討した方法で試行した再編集動画を見たり、アイデアを共有したりした後、それらが10日に受けた高橋さんからの助言に照らして、未来に残すものとして相応しいと言えるかどうかを検討することで、本時の課題を明確にする。
	2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これまでに作成した生放送特別番組を、よりたくさんの方々に見ていただいたり、未来の平田に残したりするのに相応しい形に編集できるよう、再検討しよう。</div>	2	○ 生放送特別番組内で使用したVTRも含めて、未来に残すために相応しいものであるかどうかを検討することに焦点を当てる。【手立て1】
展開	3 学習課題を解決する。 (1) 解決の見通しをもつ。 ・ 傷ついたり、嫌な気持ちになる人がいないかどうか、確認する。 ・ 動画に映っている人が、全員承諾しているか、確認する。 ・ 言葉遣いや、周辺の景色、情報の誤り等、残す資料として不適切なものはないか、確認する。	25 (5)	○ ゲストティーチャー高橋さんからの助言を再確認し、明確な見通しをもって動画を再確認できるようにする。

<p>終末</p>	<p>(2) 小グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～4人のグループで話し合う。</li> <li>・ 動画の編集を行う。</li> <li>・ 必要に応じて再撮影を行う。 (児童の必要感に応じて、活動場所が教室だけでなく、第2多目的スペース等に広がる場合がある。)</li> </ul> <p>(3) 考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合っ中で迷いが生じたり、意見が出なかつたりした場合は、他のグループの話聞きに移動する。</li> <li>・ 再撮影や再編集など、試行しながら考えたり交流したりする。 (活動場所が教室内にとどまらない場合がある。)</li> </ul> <p>4 本時の学びを振り返る。</p> <p>(1) 小グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画を吟味し、再編集が必要な部分を明らかにする。</li> <li>・ 問題がない部分も明らかにする。</li> </ul>	<p>(20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャスター役、レポーター役、解説者役、未来の科学者役、未来の技術者役、農家役、先生役、児童役のそれぞれの役で演じた部分を中心に、現時点で相応しいかどうか、より相応しい形にするにはどんな改善点があるかを引き出せるようにする。</li> <li>○ 話し合っで出されたアイデアは、メタモジクラスルーム内の共有スペースに記録させる。【手立て2】</li> <li>○ 小グループでの話し合っいと考えの交流の時間は明確に線引きせず、小グループでの話し合っいの中で、必要に応じて他のグループの意見聞きに移動させる。</li> </ul> <p>※ 多くの方々に見せるために作品を残す方法として「相応しいか」「相応しくないか」「傷つく人はいないか」「実現可能か」など、ゲストティーチャーの話と照らしながら考え、方法を決めている。(タブレット・発言)</p> <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ MetaMoji Classroom内の共有スペースや試行した動画等をモニターに映し、それをもとに発表させる。</li> <li>○ 次時以降の活動がしやすいよう、それぞれの役柄ごとに発表させる。</li> <li>○ 役柄ごとの考えを共有することで、協力して再編集できる部分も明らかにさせる。</li> </ul>
-----------	---	--

## 10 板書計画

<p>平田の歴史と自まを発信せよ～シーズン2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これまでに作成した生放送特別番組を、よりたくさんの方々に見ていただいたり、未来の平田に残したりするのに相応しい形に編集できるよう、再検討しよう。</p> </div> <p>〈再編集のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傷ついたり、嫌な気持ちになる人がいないかどうか。</li> <li>・ 動画に映っている人が、全員承諾しているか。</li> <li>・ 言葉遣いや、周辺の景色、情報の誤りなど、残す資料として不適切なものはないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顔が写っている人や、名前を出している人への確認。</li> <li>・ 尋常高等小学校の意味の出典</li> <li>・ 大森・鳥川・吉井田から通学していたとする根拠</li> <li>・ 当時の遊び道具は時代とあっているか。</li> <li>・ 動画としてだけでなく、学校図書館に残すのはどうか。</li> </ul>
--	--